

この添付文書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読み下さい。

## 【解熱鎮痛薬】

# デプロキ®

第②類医薬品

- ◆ デプロキは、生薬配合の非ピリン系解熱鎮痛剤です。
- ◆ 解熱鎮痛成分エテンザミドは発熱時には解熱効果を発揮し、無水カフェインとともに神経痛・関節痛・腰痛・生理痛などの痛みを和らげます。さらにシャクヤクは筋肉の痛み・緊張を緩和し、鎮痛効果を高めます。チンピは解熱鎮痛成分の胃への負担を緩和し、カンゾウは配合成分の作用を調整するように働きます。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないこと
4. 長期連用しないこと



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
  - (4) 高齢者。
  - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
  - (6) 次の診断を受けた人。  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要があるため、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛(のどの痛み)・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざにともなう痛み(ねんざ痛)・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒(発熱によるさむけ)・発熱時の解熱

## 用法・用量

次の1回量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。

年齢	1回量
大人	3錠
15歳未満	服用しないこと

(用法・用量に関連する注意)

用法・用量を厳守すること。

## 成分・分量

本剤9錠(2.7g)中

チンピエキス……………150mg	エテンザミド……………1500mg
カンゾウ末……………360mg	無水カフェイン……………120mg
シャクヤク末……………320mg	

添加物としてステアリン酸マグネシウム、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロースを含有する。

- ・本剤は淡黄白色で、特異なおいを有し、味は苦い錠剤です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがあります、効果に変わりはありません。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

## 薬と養生

デプロキは生薬の特性を活かした生薬配合製剤ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

また、気持ちの持ち方(気の養生)や食生活(食の養生)に注意することも、病気を治すためには大事なことです。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、生薬配合製剤や養生方法のことをご理解いただいている医師、歯科医師やホノミ漢方会々員の薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

### お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号